

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年4月10日				
放課後等デイサービスすみれ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準は満たしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置としては確保できている。	もう一人職員がいると良い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関にスロープを設置している。掲示物等を工夫して身支度等がスムーズに行えるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、もしくは夕方に清掃するようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンや、疲れた時に静かに休める場所を確保し、その部屋が使いたい時には職員へ伝えようと、お子さんたちに伝えている。	継続して声掛けをしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		季節ごとに（3か月ごとくらい）各自が目標を設定して、振り返る機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		特に意見の多かった部分については職員同士で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝ミーティングを行い、前日の振り返りをする中で、各自が意見を述べる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現段階では行っていないが、今後導入することを検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間計画をもとに開催している。また職員各自が外部の研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域を網羅できるようプログラムを作成し、公表している。毎月の通信では、毎日のプログラムが5領域の何に当てはまるか記載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		お子さん、保護者それぞれと交流しながら、要望を取り入れながら計画を作成し、支援をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管中心に計画を立て、そのうえで毎回の支援を行っている。気になる点があればその都度児発管に伝え、修正の必要があれば対応している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個人ファイルに計画を保存しているが、職員それぞれが見ることが出来るようにしており、疑問等があればその都度対応している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせで情報を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		様々なものを参考にしながら本人支援、家族支援、移行支援等を立案している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員から意見を募り、活動プログラムを立てている。	今後も活動のねらいを各自が意識して、プログラムを立案していく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域を踏まえて、プログラムの偏りがなく、また積極的に新しいことを取り入れる姿勢は常に持っている。	職員それぞれが研修等で学んだことを活かせるようにしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々に合わせて個別活動の時間を調整しながら、集団活動と組み合わせています。	個別活動、集団活動共に新しいものを取り入れつつバージョンアップできるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ねらい等含めて、事前に職員間で共有して、支援に臨んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日になる場合もあるが、振り返りはしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		翌日になる場合もあるが、記録をとり、後日振り返りが出来るようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、見直しをし、計画を立て替えるなど対応している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインを意識して支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		迷ったときには選択肢を狭めて、お子さんたちがそれぞれ自分で決められるよう支援をしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		各関係機関との会議には、お子さんたちの状況を十分に把握したものが参画している。またいろいろな職員から情報を得るようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関等には定期的連絡を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有できている。新規利用になる場合には事前に学校等には連絡を入れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相互理解できるよう努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修等に参加し、また連絡を取り合っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		前向きに検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		機会がある時には積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳、電話、メールまたは送迎時に情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		講師をお招きして保護者参加の会を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意向を確認するために、お子さん、保護者とのやり取りの時間を大事にしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、疑問等あればその都度対応している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談等あった場合には対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		講師、職員を交えて日頃疑問に思っていること等を話す機会を設け、好評を得た。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速に動くように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1度通信を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報について説明し、取り扱いには十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通のツールとして絵カード等を活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	前向きに検討している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、周知している。	周知はしているが、月に1度の通信等で保護者には伝えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定し、定期的に避難訓練を実施、訓練を継続している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年度の切り替え時など定期的に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの聞き取りを行い、書面化して、共通理解を図っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を十分に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例があった場合には、報告書を作成した上で、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修等に参加し、職員それぞれが意識を高められるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		記載している。	